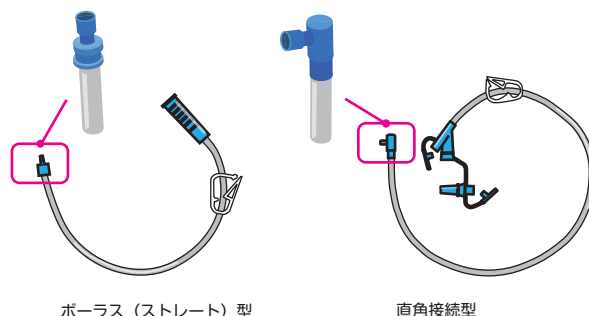


ボタン型 PEGカテーテルの接続チューブの選び方

監修：ふきあげ内科胃腸科クリニック院長 蟹江治郎（かにえじろう）先生

ボタン型 PEG カテーテルの接続チューブには「ボラス（ストレート）型」と「直角接続型」の2種類があります。

「固形化経腸栄養剤」（ハイネゼリー）の注入には、ボラス（ストレート）型接続チューブが適しています。



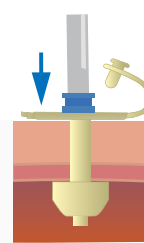
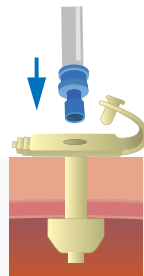
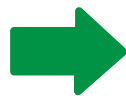
ボラス（ストレート）型

直角接続型

ボタン型の場合は、ボラス（ストレート）型の接続チューブを使用



ハイネゼリーと「ボラス（ストレート）」接続チューブを接続する。



まっすぐに差し込む



直角接続型

× このタイプの接続チューブはハイネゼリーに使用しないこと！

接続チューブのもう1つの種類である直角接続チューブは液体栄養に適したタイプで、チューブが長くバンパーとの接続部が直角です。

このタイプでハイネゼリーを注入しようとするすると接続部に大きな圧力がかかり抜けやすいので、使わないようにしましょう。

♥ 注入のポイント ♥



片手で接続部を、もう片方の手で容器をしっかりとつかんで持ちます。

接続部に圧力がかかりすぎないように、注意しながら絞り出しましょう。

「固形化経腸栄養剤」(ハイネゼリー) 注入の手順

監修：ふきあげ内科胃腸科クリニック院長 蟹江治郎（かにえじろう）先生

ハイネゼリーの注入手順を紹介します。

利用者さんの表情を見ながらやさしく行うのがポイントです。

ハイネゼリーの注入後には、食後にお茶を飲むように、水分補給を行うと良いでしょう。

準備するもの



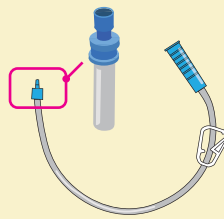
ハイネゼリー



アダプター



フラッシュ用の
シリンジ





連結チューブ
(PEG がボタン型の場合のみ)





タオルなど

ハイネゼリー注入までの手順

- 

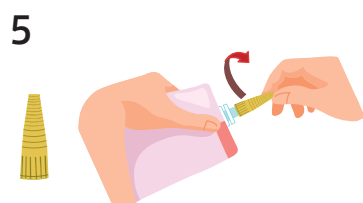
手を洗って清潔にする
- 

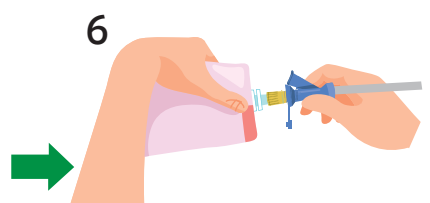
利用者さんの上体を 90 度
(不可能な場合は 30 度) に起こす
- 

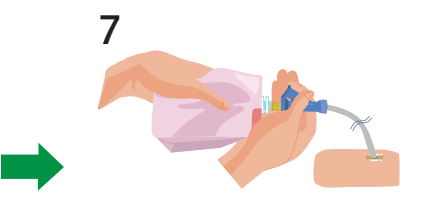
ハイネゼリーを軽くもむ
- 

キャップをはずす

注入手順 <手で絞り出す場合>

- 

黄色の専用アダプターを装着します。
止まるまで右に回して
しっかりと閉めてください。
- 

黄色の専用アダプターと
PEG カテーテルを
しっかりと接続します。
※差し込み方がゆるいと注入時の圧で
チューブが外れることがあるので注意
- 

片手で接続部を持ち、
もう片方の手で容器を持ち
搾り出します。
※このとき、「はきけ」があるようなら
注入を中断してください。

※場合によっては、
チューブ型の場合は「酢水」によるロック
(第 1 回目「酢水による管理方法」PDF を参考) や、
少量の水もしくは白湯でシリンジをフラッシュし、
チューブをきれいにしてください。



PEG カテーテルの
キャップを閉めます。



追加水分を注入します。

※第 2 回の「固形化経腸栄養剤」に追加する
水分選択の方法」PDF を参考にしてください。

ハイネゼリー注入法 1日のスケジュール

監修：ふきあげ内科胃腸科クリニック院長 蟹江治郎（かにえじろう）先生

様

PEG カテーテルの種類 チューブ型 ボタン型

チューブ型の場合、投与後は酢水による管理をおすすめします。 ボタン型の場合、接続チューブはポーラス（ストレート）型を選択します。

1日の使用量 kcal ハイネゼリー パック

1日の追加水分量 mL 白湯 水寒天 市販水分ゼリー

1日投与のスケジュール ※投与の前後にチューブやろう孔の周囲を観察しましょう。

時間		ハイネゼリー	追加水分	薬	その他
朝	6時				
	7時				
	8時				
	9時				
	10時				
昼	11時				
	12時				
	13時				
	14時				
	15時				
夕	16時				
	17時				
	18時				
夜	19時				
	20時				
	21時				

memo